

01 歌の表情が、聴く人の心を動かすとき

歌がどんな表情をするかで、聴く人は心を動かされます。どんな心がけで、歌の表情は変化するのでしょうか。任意の合唱曲を通して、皆さんの歌がどう変化するか体感してみましょう。

講 師

井原 秀人 教授

専 門 分 野

声楽、オペラ

現在の研究テーマ

声楽全般における舞台表現法

担 当 科 目

専門実技 声楽、オペラ

出 講 可 能 日

金曜日

講義に必要な機材

ピアノ

研究テーマの詳細



02 美しく声を出すための秘策

美しい声とはなにか。歌やお話しをするときの声が、身体の構造やその活用法を知ることによって、より歌いやすく楽しめるものになるよう、わかりやすく実践を伴い説明をいたします。

講 師

井上 敏典 教授

専 門 分 野

声楽

現在の研究テーマ

歌と表現のための発声法

担 当 科 目

専門実技 声楽、オペラ

出 講 可 能 日

金曜日

講義に必要な機材

ピアノ、ホワイトボード又は黒板、
可能であればプロジェクターとスクリーン

03 作曲、和声、対位法などのレッスン

作曲、及び作曲するに必要とされるエクリチュールなどのレッスンを行います。作曲に興味をもっている初心者の方も受講可能です。受講希望者は、勉強した和声・対位法・コラール・フーガなどのノートや最近の作品などを持参してください。

講 師

葛西 聖憲 特任教授

専 門 分 野

作曲

現在の研究テーマ

音楽の創作

担 当 科 目

サウンドデザイン研究、
ミュージッククリエイション

出 講 可 能 日

月曜日

講義に必要な機材

ピアノ

04 ピアノの実技指導

任意のピアノ曲をレッスンします。楽譜の読み方、作曲家ごとの様式のとらえ方、自然な身体の使い方などといった観点からアドバイスします。

講 師

河江 優 教授

専 門 分 野

ピアノ

現在の研究テーマ

美しい響きを生むピアノ奏法

担 当 科 目

専門実技 ピアノ、ピアノ奏法研究

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

講義に必要な機材

グランドピアノ

研究テーマの詳細



05 “音楽療法”を知っていますか？

音楽には私たちの体や心、精神に働きかける力があります。音楽療法とは、音楽を聴く・奏でる・創る・語る、などを通して、その“音楽が持っている働き”を意図的・計画的に利用し、健康の維持や生活の質の向上を目指します。今日、世界中の医療・福祉・心理・教育の現場で音楽療法は実践されています。音楽療法に実際に用いられる方法を一部体験してみることで、音楽の新たな活用方法を学んでみませんか？

講 師

北脇 歩 准教授

専 門 分 野

医療現場における音楽療法

現在の研究テーマ

エンド・オブ・ライフケアにおける音楽療法

担 当 科 目

音楽療法概論、ミュージックセラピー技能演習

出 講 可 能 日

月曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、ピアノ

研究テーマの詳細



06 気持ちを込める演奏方法

どのようにしたら音楽に「気持ちを込める」ことができるのでしょうか？実際に教材を歌いながら、その方法をみなさんと一緒に考えていきましょう。

講 師

松下 悦子 教授

専 門 分 野

声楽

現在の研究テーマ

歌うことにおける詩（言葉）の表現法

担 当 科 目

専門実技 声楽、ドイツ語声楽曲研究

出 講 可 能 日

月曜日

講義に必要な機材

ピアノ

07 ピアノという楽器での色々な表現

音楽学科・演奏専攻・鍵盤楽器コース（ピアノ）へ御入学を目指される皆さんへ、本学での学びについてピアノを使った実技レッスンの形で解説していきます。

講 師
中野 慶理 教授

専 門 分 野
音楽：専門実技ピアノ

現在の研究テーマ
ピアノの多様な音色の研究

担 当 科 目
専門実技 ピアノ、ピアノ指導法

出 講 可 能 日
金曜日

講義に必要な機材
グランドピアノ 1 台

08 クラシック音楽における楽曲形式

クラシック音楽における代表的な楽曲形式について学ぶ。音楽を聴きながら譜例の分析を行う。

講 師
成田 和子 教授

専 門 分 野
作曲

現在の研究テーマ
音楽創作とテクノロジー

担 当 科 目
サウンドデザイン研究、
ミュージッククリエイション

出 講 可 能 日
金曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、
音楽鑑賞システム（CD 再生など）

09 フランス近代の作曲家たち

フランス近代の作曲家たち、フォーレ、ドビュッシー、サティ、ラヴェルなどは、それぞれ非常に個性的な作品を作りましたが、実は彼らの間で深く影響を与え合って音楽を発展させていました。似てるけれども違う、ということから、彼らの個性がよりよくわかります。

講 師
椎名 亮輔 教授

専 門 分 野
音楽学

現在の研究テーマ
フランス・スペイン近現代音楽

担 当 科 目
ミュージックスタディーズ研究、音楽の美学

出 講 可 能 日
月・土曜日

講義に必要な機材
プロジェクター、スクリーン、
CD プレーヤー、ピアノ

10 心を通わす音楽～自分の中の音楽と出会う～

音楽は、時に言葉にならない気持ちを代弁してくれます。心を通わすコミュニケーションの手段として、音楽は太古から人間の生活に寄り添ってきました。現代では、医療・福祉・教育の現場で、病や障害のある人の心と身体のケアとして音楽療法が実践されています。誰にでもある音楽性、それを引き出すことが健康の鍵である、という音楽療法の考えを元に、ミュージシャンで認定音楽療法士でもある講師と、講義やワークショップを通じて、自分の中の音楽を探索してみませんか。きっと新しい音楽の世界が開けるはずです。

講 師

鈴木 琴栄 助教

専 門 分 野

即興を用いた音楽心理療法

現在の研究テーマ

臨床的ミュージシャンシップについて

担 当 科 目

音楽療法各論、ミュージックセラピーグループ

出 講 可 能 日

春学期：月・火・水・木曜日

秋学期：水・木曜日

講義に必要な機材

プロジェクター、スクリーン、ピアノ、
楽器類（もしあれば、無くても構いません。）

11 楽器から音楽史を見つめてみよう

約 300 年前に誕生したピアノは、クレメンティ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、ショパン、リスト、ドビュッシーなど多くの作曲家に影響を及ぼし、発展してきました。作曲家の要望や探求心が、楽器の性能を大きく飛躍させたと言い換えることができるかもしれません。この授業では、楽器の発展が当時の文化や社会、作曲法や演奏法とどのように関わっていたのかを多角的な視点で考えてみたいと思います。

講 師

筒井 はる香 准教授

専 門 分 野

音楽学

現在の研究テーマ

18 世紀後半から 19 世紀前半にかけてのイギリス式
ピアノと演奏法の関連について

担 当 科 目

京都の音・音楽、音楽史（ロマン派）

出 講 可 能 日

木・土曜日

研究テーマの詳細

講義に必要な機材

プロジェクター、パソコン、ピアノ



12 ユーフォニアム演奏指導 吹奏楽合奏指導

金管楽器であるユーフォニアムの指導全般、初歩から上級まで対応可能。吹奏楽指導については、生徒に対する指導及び指導者に対する初歩的な指揮法が対応可能です。

講 師

牛渡 克之 教授

専 門 分 野

ユーフォニアム演奏、指揮法

現在の研究テーマ

ユーフォニアム演奏法、指揮法

担 当 科 目

オーケストラ、専門実技 ユーフォニアム

出 講 可 能 日

不定期（個別に対応）

講義に必要な機材

特になし

13 バイオリン演奏

バイオリンの演奏法、あるいは弦楽を中心とするアンサンブルにおける諸問題を「自発的解決」に導く実践法とともに学びます。

講 師

山本 裕樹 教授

専 門 分 野

バイオリン

現在の研究テーマ

バイオリンにおけるピリオド奏法の現実

担当科目

専門実技 バイオリン、専門実技 管弦打楽器

出 講 可 能 日

ご相談に応じて

研究テーマの詳細

講義に必要な機材

特になし

